

藤井菜央さん、おめでとう！
吉本坂46最年少メンバーとして
全国デビュー決定！



本紙20号でもご紹介した「歌姫日本一」に選ばれた西条中央地区出身の藤井菜央さんが、「吉本坂46」の正式メンバーとしてプロデビューされることが決まりました。
「吉本坂46」は、秋元康氏がプロデューサーとして手がける新アイドルユニットとあって、一次審査では1746人が応募。歌やダンスなど幾多の激戦ジャッジを乗り越えた末、多数の著名スターも名を連ねるなか、現役高校生で最年少の藤井さんが正式メンバーとして選出されました。今後の活躍が楽しみです。

この度、吉本坂46の正式メンバーになることができました。いつか地元東広島でライブができるように、これから頑張りたいと思います！これからも応援よろしくお願いします。



藤井 菜央

通学路の道路標識が新しくなりました

通学時の児童・生徒の安全、ドライバーの注意喚起を目的に、中央1丁目付近の道路標識の一部が一新されました。

今回は、とくに事故の多発する危険ゾーンの表示文字を大きくするなどの改善を行いました。今後も交差点にミラーを増設するなど、西条中央地区の危険箇所に応じた対策や取り組みを図っていきたいと思います。



9～12月の地域行事

- 9月23日(日) 敬老会(福祉部会)
- 9月29日(土) 30日(日) 和泉八幡神社秋祭り
- 10月21日(日) ハロウィン(子ども会)
- 11月4日(土) さわやかウォーク(文化部会)
- 11月22日(木) いきいき地域サロン(福祉部会)
- 12月2日(日) 資源回収(環境部会)

*「光の宴」は、古墳公園の改修工事のため、今年はありません。

発行・連絡先

三ツ城自治協議会 西条中央支部 事務局 / 情報部会
 部長：福村 眞喜子 TEL:090-1330-1981
 副部長：藤原 義正 TEL:090-4802-6640
 メール：saijyochuoshibu@gmail.com
 ホームページよりバックナンバーをご覧ください▶

Facebook ページ

Twitter もご覧ください ▶



三ツ城自治協議会

“いきいき体操”を始めませんか？

通称「百歳体操」で親しまれる「ひがしひろしまいきいき体操」は、東広島市役所健康推進課が推進するDVDを見ながらできる簡単な体操です。認知症の予防、骨粗鬆症予防、体重、血糖値安定化などの効果が期待できます。



西条地区でも次第にはやりつつあり、西条中央六丁目でもこの度「いきいき体操」を立ち上げたいと計画しています。メンバーを募集しますので、参加希望者は下記の内容を確認のうえ、ご応募ください。*5人以上集まれば開始いたします。

▶場所：西条中央六丁目12-10

中国新聞(有)蓮池新聞舗 内 大会議室

▶実施日：毎週月曜日10:00から

▶体操時間：1時間程度

▶参加費 1500円/月 程度
(会議室利用料)



*保健師、作業療法士等の体操指導があります。

<お問い合わせ先>

TEL:082-423-2096(森川) /090-4802-6640(藤原)

「三ツ城メール」の登録がより簡単に！

三ツ城メールは、地区在住のメール登録者に地域情報をメールで一斉配信するサービスです。メール登録者には、三ツ城自治協議会より、地元行事や防災についての情報が届きます。
メール登録が用紙でもできるようになりました。
この機会にぜひご申請ください。



こちらからも登録できます



光の宴会場で登録すると「つながる三ツ城グッズ」プレゼント！

新規メール登録するといずれか1点選べます



*無くなり次第終了

三ツ城自治協議会

平成30年9月20日発行

第26号

西条中央支部だより

この度の豪雨に伴う災害により、犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申しあげるとともに、被災され避難を余儀なくされた方々に心よりお見舞い申し上げます。

鏡山付近の山道



防災の基本は「自助」

自分の命は、自分で守る～
「いま」そして「その時」すべきことは？

防災対策の基本

自分で準備 70%

自助
まずは自分で守る

共助
そして近所で守る

公助
最後に公的機関で守る

10%

地域の助け合い 20%

9月2日(日)

防災学習会

(下見福祉会館第2会議室にて)

この度の豪雨災害を踏まえ、9月2日(日)、東広島市危機管理課 防災担当の中川参事、消防士の田邊氏を講師にお招きし、「防災学習会」を開きました。



各家庭において、日ごろからこういった心構えをすべきか、どのような防災のための準備や対策が必要かを考えるよい機会となりました。

とくに災害時に備え、「緊急時の避難経路や連絡手段など、各家庭や身近な方々と日頃からよく話し合っておくことが大切」との指導がありました。

豪雨により市内各所で甚大な被害が発生しましたが、西条中央でも黒瀬川付近の一部の家屋で浸水の被害がありました。被害に遭われた方によると、「まず、避難するのに何を最優先させ、どこにどう避難すべきかが分からなくて困った」とのことです。

緊急時の心得として最も大切なのは「自助」。「自分の身を守るのは自分自身である」という意識を持ち、いざという時も慌てないよう、日頃からの準備を心がけましょう。



ご存知ですか？

東広島市 緊急告知ラジオ

緊急告知ラジオは、コミュニティFM(FM東広島)放送の電波を利用した、緊急告知システムで、災害時には市域の防災情報を放送します。

普段はFM東広島専用のラジオとして利用でき、災害時に緊急情報が入ると自動的に起動する、いざというときに役立つラジオです。

東広島市役所では、緊急告知ラジオの販売配布受付を行っています。詳しくは東広島市役所3階の危機管理課までお問い合わせください。



災害時に備えて・・・
緊急告知ラジオを準備されませんか？
避難行動要支援者のおられる世帯には、無料で配布されます。
東広島市防災メール等無料の配信サービスと併せてご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ先
東広島市危機管理課 電話 082-420-040

子育て世帯対象

防災ハンドブック

市内の子育て家庭には「防災ハンドブック」が無料配布されています。このような防災ツールをもとに、災害時の対応についてご家庭で話し合われてはいかがでしょうか？



きらめき星空まつり

7月21日(土) 三ツ城小学校

夏休み恒例の「きらめき星空まつり」が今年も開かれました。

オープニングは、郷田太鼓の力強い演奏でスタート。ステージ発表では、ジャズダンス、合唱、ハンドベル、ヒップホップを、各グループが披露しました。



おまつり会場には18組の出店があり、子どもも大人も、それぞれに工夫を凝らしたお店をまわり楽しんでいました。

後半は、大学生によるビンゴゲームで盛り上がり、夕日が沈みはじめたころ、映画上映がスタート。夜空のもと、大スクリーンに映し出された作品をみんなで楽しみました。



←今年も中央中学校の生徒さんたちがボランティアで参加。

8/25日(土) クリーンウォーク

環境部会



毎年夏休み開催の「クリーンウォーク」を、三ツ城公園と見晴らし公園にて開催しました。当日は朝8時より30名近くの参加者が集まり、1時間ほど歩きながら公園や

周辺道路のゴミを拾い集めました。

子どもたちも参加し、終始なごやかで楽しい行事となりました。



ライトダウンIN東広島2018

8月12日(日) 三ツ城小学校

古墳改修工事のため今年中止となった「光の宴」に代わる行事として、「ライトダウンIN東広島2018」が、三ツ城小学校で行われました。



お盆を前に初めての参加者も多く、児童や保護者、スタッフを合わせて約200名が参加。今年はグラウンドにて作品鑑賞の機会も設けられ、小学校6年生と広島大学のキャンドルサークル「灯」によるキャンドル作品の素晴らしい合作も披露されました。

19時頃から体育館において、マジック・大道芸、天文・クイズ大会、お楽しみ抽選会などがあり、たいへん盛り上がりました。

20時頃からは運動場に移動し、小学生の天の川をイメージしたキャンドル作品や、星座をモチーフにしたキャンドル作品の鑑賞タイムを楽しみ、レーザーポイントを使った星座についての解説がありました。雲の合間から薄らと天の川が見えたり、とりわけ今年は一際大きく輝く火星を見ることができました。

その後参加者は、数台の天体望遠鏡で説明を受けながら星空を鑑賞。グラウンドでは、シートに寝そべて星空を見上げたり、流れ星に歓声をあげたりするなど、皆それぞれに西条の夜空を満喫している様子でした。



ライトダウンIN東広島2018

実行委員会代表：広島大学宇宙科学センター 観山特任教授 / 事務局：川端教授 協力団体：広島天文協会、三ツ城小学校、広島大学天文学研究会、広島大学キャンドルサークル「灯」、広島大学遊戯団、三ツ城自治協議会

三ツ城小学校6年生 平和学習



6年生児童の感想(抜粋)

当時の苦しみを泣きながら話しているのを見て、それほど戦争とは人々の心まで悲しみに変えていくんだなと思いました。黒賀さんに教わったことをいろいろな人に伝えていき、多くの人にこのおそろしい戦争、核兵器のおそろしさを感じてもらいたいです。

この学習をする前は、もう昔のことだからと、真面目に原爆のことと向き合ってきました。しかし、今回の黒賀さんのお話を聞いて、原爆に対する意識が大きく変わり、戦争や原爆のおそろしさを考え直すことができました。

戦争はこれから絶対に起きてはいけないことで、みんなが楽しく過ごせるのが平和ということが心に残りました。黒賀さんのくださった話を家に持って帰って話したいと思います。

平和に暮らせていることのありがたさ、当たり前のことを当たり前でできていることのありがたさを学びました。二度と戦争が行われないように、いて当たり前だと思っていた家族や友だちを大切に、ケンカや争いのない平和な世界にしていきたいです。

過去の学びから、未来に向けて「今すべきこと」を

8月3日、三ツ城小学校にて同校6年生児童を対象に「平和学習」の授業が行われました。地域からは黒賀善子さんが参加し、平和への思いを語りました。

黒賀さんの父、良則さんは、戦時中 衛生兵として働き、21歳の時に爆心地から約1キロの地点で被爆されました。80歳を過ぎてから語り部として10年間にわたり活動をされましたが、一昨年亡くなりました。

この日は、良則さんが亡くなる前に収録されたDVD「ヒロシマの証言～被爆者は語る～」が放映され、そこでご自身が語った被爆体験から、戦争はいけないこと、原爆はおそろしいもの、二度としてはならないし落としてはならない、という思いがひしひしと伝わってきました。

また、善子さんからの「戦争は傷つけ合うもの、まずは周りの友だちと仲良く過ごしてほしい」というメッセージに、児童の皆さんも深くうなずいていました。



黒賀さんの話熱心に耳を傾ける6年生児童

7/26日(木) 第15回 三ツ城ふれあい・いきいきサロン

福祉部会

みんなで笑顔！レクリエーション

(東広島商工会議所1階)



レクリエーションサークル「べっぴんじゃけん」による催し

7月26日、「三ツ城ふれあい・いきいきサロン」を開催しました。第15回目となるこの日は、レクリエーションサークル「べっぴんじゃけん」の奥村早苗さん(志和生涯学習センター長)と、石川香代さん(寺西保育所長)をお招きし、みんなでレクリエーションを楽しみました。

歌あり、クイズあり、手品や腹話術まで披露していただき、子どもも大人も笑顔いっぱい。とても楽しい時間を過ごしました。



楽しい腹話術も披露

豪雨被災地ボランティアの皆様、ありがとうございます

7月の豪雨では、東広島市においては亡くなった2名を含む32名の被害者、4155軒の建物等の被害届けがありました。西条では7名の被害者、56軒の家屋被害(市内全環2軒の届け出がありました。8月20日東広島市公開情報)のほか、道路、河川、水路、農地、山等も被害を受けています。この状況を受けて社会福祉法人東広島市社会福祉協議会では、7月13日に災害ボランティアセンターを開設し、ボランティアの派遣をスタート。7月の土、日曜日は450名程度、平日は100名程度のボランティアの方が東広島市内のみならず、遠く北海道、沖縄など全国から来られ、酷暑のなか活動されました。



ボランティアの方は、一般学生、各種団体、企業の方等いろいろな人たちが1グループ8名となって10時〜15時まで、主に土砂を除去する活動を行いました。西条南の民生委員や他地区の民生委員も、連日受付や電話応対等の支援をさせていただきました。大勢の皆様が協力により、被災地の状況が落ち着きつつあります。幸い西条中央では大きな被害は発生しませんでした。地震災害は豪雨のみならず、地震台風等も考えておく必要があります。日頃から災害に対する準備と、社会福祉協議会をはじめ各種支援団体との連携を深めておく必要があると思われまます。

(民生委員 藤原)